

補助事業番号 20-1-004
補助事業名 平成 20 年度 自転車競技の振興 補助事業
補助事業者名 財団法人 ツール・ド・北海道協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

我が国における自転車競技の発展に資するため、その普及推進を図りもって体育の振興に寄与する。

(2) 実施内容

大会の概要

ア. 開会式及び最終表彰式

- a. 開会式 平成 20 年 9 月 10 日(水) 帯広市民文化ホール
- b. 最終表彰式 平成 20 年 9 月 15 日(月・祝) 札幌市モエレ沼公園特設会場

イ. 競技種目と月日・場所

第 1 ステージ 215km(帯広市～音更町～士幌町～上士幌町～足寄町～釧路市～弟子屈町～標茶町)

- a. 平成 20 年 9 月 11 日(木) スタート直前に震度 5 弱の地震に見舞われたが、予定どおりに帯広市中央公園前からスタートした。途中 2 ヶ所の山岳ポイントを目指し、目を向けると 360 度地平線が辺り一面に広がる標茶町多和平に向かって駆け抜けた。
- b. 午前 9 時 30 分 (財) ツール・ド・北海道協会会長 綿貫 民輔氏の号砲で 99 名の選手が一斉に出走した。
- c. 通過市町村は、帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、足寄町、釧路市、弟子屈町、標茶町の 2 市 6 町である。
- d. 第 1 ステージの完走者は 88 名で、その成績結果は次のとおりである。
 - (i) 個人区間 1 位 ヴァンルーテンビーク エマニエル(オランダ) 5 時間 18 分 06 秒
 - (ii) 個人区間(U23) 1 位 福田 真平(チームブリヂストンアンカー)
5 時間 19 分 28 秒
 - (iii) 個人総合時間 1 位 ヴァンルーテンビーク エマニエル(オランダ)
5 時間 17 分 56 秒
 - (iv) 個人総合ポイント賞 1 位 ヴァンルーテンビーク エマニエル(オランダ)
25 ポイント
 - (v) 個人総合山岳賞 1 位 ヴァンレイジェン ジュースト(オランダ)
13 ポイント
 - (vi) 団体区間順位 1 位 オランダ 15 時間 55 分 39 秒
 - (vii) 団体総合時間 1 位 オランダ 15 時間 55 分 39 秒
- e. 午後 3 時 07 分から標茶町多和平展望台特設会場において表彰式が行われ、標茶町長 池田 裕二氏から入賞者にチャンピオンジャージが授与された。

第2ステージ 153km(釧路市、白糠町、浦幌町、本別町、池田町)

- a. 平成20年9月12日(金)朝方からの雨が時折強く降る中、釧路市大規模運動公園から釧路市長 伊東 良孝氏の号砲により午前9時に8名の選手が池田町を目指して一斉に出走した。
- b. 通過市町村は、釧路市、白糠町、浦幌町、本別町、池田町の1市4町である。
- c. 第2ステージの完走者は86名で、その成績結果は次のとおりである。
 - (i)個人区間 1位 ヴァンルーテンビーク エマニエル(オランダ) 3時間33分45秒
 - (ii)個人区間(U23) 1位 阿部 嵩之(北海道地域選抜) 3時間33分45秒
 - (iii)個人総合時間 1位 ヴァンルーテンビーク エマニエル(オランダ)
8時間51分41秒
 - (iv)個人総合ポイント賞 1位 盛 一大(愛三工業レーシングチーム) 33ポイント
 - (v)個人総合山岳賞 1位 ヴァンレイジェン ジュースト(オランダ)13ポイント
 - (vi)団体区間順位 1位 愛三工業レーシングチーム 10時間41分15秒
 - (vii)団体総合時間 1位 オランダ 26時間36分54秒
- d. 雨の中午後1時06分から池田町田園ホール特設会場において表彰式が行われ、池田町長 勝井 勝丸氏からチャンピオンジャージが授与された。

第3ステージ 個人タイムトライアル 1.6km(帯広市十勝川河川敷特設コース)

- a. 9月13日(土)帯広市の十勝川と帯広川の合流地点付近の河川敷で1.6kmの個人タイムトライアルが86名の選手で競技を行った。
- b. 午前9時 帯広市長 砂川 敏文氏の号砲で86名の選手が1分間隔で、あらかじめ指定された順序でスタートした。
- c. 個人タイムトライアルの成績結果は次のとおりである。
 - (i)個人区間 1位 盛 一大(愛三工業レーシングチーム) 2分17秒69
 - (ii)個人区間(U23) 1位 福田 真平(チームブリヂストンアンカー)2分21秒80
 - (iii)個人総合時間 1位 ヴァンルーテンビーク エマニエル(オランダ)8時間54分03秒
 - (iv)個人総合ポイント賞 1位 盛 一大(愛三工業レーシングチーム) 43ポイント
 - (v)団体区間 1位 梅丹本舗 - GDR 6分56秒
 - (vi)団体総合時間 1位 オランダ 26時間43分57秒

第4ステージ 116km(帯広市～音更町～芽室町～清水町～鹿追町～新得町～南富良野町～占冠村)

- a. 9月13日(土)個人タイムトライアルの終了後すばらしい秋晴れの午後から帯広市銀輪橋前をスタートし、占冠村 アルファリゾート・トマム前ゴールとなる特設会場までのコースで行われた。
- b. 午後1時に帯広市長 砂川 敏文氏の号砲で86名の選手が一斉に出走した。
- c. 通過市町村は、帯広市、音更町、芽室町、清水町、鹿追町、新得町、南富良野町、占冠村1市6町1村である。
- d. 第4ステージの完走者は83名で、その結果は次のとおりである。
 - (i)個人区間 1位 ヴァンレイジェン ジュースト(オランダ)2時間39分11秒

- (ii) 個人区間(U23) 1位 伊藤 雅和(鹿屋体育大学)2時間39分13秒
 - (iii) 個人総合時間 1位 宮澤 崇史(梅丹本舗-GDR) 11時間33分10秒
 - (iv) 個人総合ポイント賞 1位 盛 一大(愛三工業レーシングチーム)43ポイント
 - (v) 個人総合山岳賞 1位 野寺 秀徳(スキル・シマノ)22ポイント
 - (vi) 団体区間順位 1位 オランダ 7時間57分37秒
 - (vii) 団体総合時間 1位 オランダ 34時間41分34秒
- e. 午後4時16分占冠村(トマム)の特設会場において表彰式を行い、占冠村長 小林 豊氏から入賞者にチャンピオンジャージが授与された。

第5ステージ180km(占冠村～日高町～平取町～むかわ町～夕張市～栗山町～由仁町～長沼町～南幌町～江別市)

- a. 9月14日(日)アルファリゾート・トマム前をスタートし、ツール・ド・北海道2008最後のロードレースがスタートした。最後の勝負どころでもある。
- b. 午前9時30分 占冠村長 小林 豊氏の号砲により、83名の選手が江別市に向かい勢いよく一斉にスタートした。タウン to タウンで走る最後のステージである。
- c. 通過市町村は、占冠村、日高町、平取町、むかわ町、夕張市、栗山町、由仁町、長沼町、南幌町、江別市の2市7町1村である。
- d. 第5ステージの完走者80名で、結果は次のとおりである。
 - (i) 個人区間 1位 マクドナルド ピーター(オーストラリア)4時間15分09秒
 - (ii) 個人区間(U23) 1位 青柳 憲輝(法政大学)4時間15分12秒
 - (iii) 個人総合時間 1位 宮澤 崇史(梅丹本舗-GDR) 15時間48分32秒
 - (iv) 個人総合ポイント賞 1位 ヴァンレイジェン ジュースト(オランダ)48ポイント
 - (v) 個人総合山岳賞 1位 ヴァンレイジェン ジュースト(オランダ)27ポイント
 - (vi) 団体区間順位 1位 NIPPO - エンデカ 12時間45分53秒
 - (vii) 団体総合 1位 オランダ 47時間27分40秒
- e. 午後2時14分江別市野幌総合運動公園特設会場において表彰式を行い、江別市長 三好昇氏から入賞者にチャンピオンジャージが授与された。

第6ステージ(クリテリウム61km)札幌市モエレ沼公園

- a. 9月15日(月・祝)札幌市モエレ沼公園特設コース(1周2.75km×22周)で競技を行った。
- b. 午前9時 副大会長 岩楯 昭一氏の号砲で80名の選手がスタートした。
- c. 第6ステージの完走者は49名で、その結果は次のとおりである。
 - (i) 個人区間 1位 西谷 泰治(愛三工業レーシングチーム)1時間18分22秒
 - (ii) 個人区間(U23) 1位 伊藤 雅和(鹿屋体育大学)1時間18分25秒
- d. 午前10時45分 札幌市モエレ沼公園特設会場において表彰式を行い、副大会長岩楯昭一氏から区間賞が授与された。

午前 11 時 30 分、札幌市モエレ沼公園特設会場で秋晴れの大量観衆の前で、ツール・ド・北海道 2008 最終表彰式が行われた。

(i) 個人総合時間順位

優勝	宮澤 崇史(梅丹本舗 - GDR)	17 時間 06 分 57 秒
2 位	ヴァンレイジェン ジュースト(オランダ)	17 時間 07 分 02 秒
3 位	ヴァンルーテンビーク エマニエル(オランダ)	17 時間 07 分 11 秒

(ii) 個人総合ポイント賞

優勝	宮澤 崇史(梅丹本舗 - GDR)	65 ポイント
2 位	ヴァンレイジェン ジュースト(オランダ)	61 ポイント
3 位	西谷 泰治(愛三工業レーシングチーム)	47 ポイント

(iii) 個人総合山岳賞

優勝	ヴァンレイジェン ジュースト(オランダ)	27 ポイント
2 位	野寺 秀徳(スキル・シマノ)	26 ポイント
3 位	ガロッフアロ ビンチェンツォ(NIPPO - エンデカ)	15 ポイント

(iv) 団体総合時間順位

優勝	オランダ	51 時間 23 分 08 秒
2 位	NIPPO - エンデカ	51 時間 24 分 35 秒
3 位	梅丹本舗 - GDR	51 時間 24 分 35 秒

(v) 個人総合時間(U23)順位

優勝	伊藤 雅和(鹿屋体育大学)	17 時間 08 分 33 秒
2 位	福田 真平(チームブリヂストンアンカー)	17 時間 08 分 39 秒
3 位	辻本 翔太(順天堂大学)	17 時間 09 分 01 秒

成果

本大会の 22 回大会における競技は、まずまずの天候に恵まれステージレースは帯広中央公園をスタートし、最終は江別市野幌総合運動公園がゴールとなった。大会 2 日目の釧路市から池田町のステージレースは雨風にあたったが、各ステージで選手達はそれぞれの力を出し切り、道東・道央地域の大自然の中、伸び伸びとレースができた。

本格的な国際大会として 12 回目を迎え着実な歩みを続けており、これまでのツール・ド・北海道の開催実績とその成果が、大会運営等についても十二分に発揮された。

今年は海外から 5 チームを招待し、国際色あふれる競技に道民の関心も年々強くなっているようで、各ステージともかなり多くの観客があり(75,650 人)、スピード感あふれる自転車競技に通過地の沿道から熱心な声援が送られた。

また、大会後、地元民放テレビ局及び全国 BS 放送で放映され、さらに当協会のホームページも大会期間中には高いアクセス数(2,531,964 件)で推移し、広く成果を十分に周知することができた。

2. 予想される事業実施効果

ツール・ド・北海道の開催により、北海道における観光資源及び産業の開発・文化の振興・生活の向上等に貢献すると共に、自転車による健康と体力の増進に一層の関心を深め、また、わが国におけるサイクルスポーツの普及・振興及び自転車利用の普及・啓発になお一層の貢献が期待できる。

3. 本事業により作成した印刷物

ポスター(大) 500枚、ポスター(小) 5,000枚、ガイドブック 10,000部
テクニカルガイド 500部、選手名簿 5,000部、交通規制チラシ 61,900枚(4種類)
事業報告書 700部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人 ツール・ド・北海道協会(ツール・ド・ホッカイドウキョウカイ)

住所：060-0004

札幌市中央区北4条西6丁目1-3 北四条ビル4階

代表者名：理事長 眞田 眞(サナダ マコト)

担当者名：事務局長 鈴木 秀之(スズキ ヒデユキ)

担当部署：事務局

電話番号：011-222-5922

F A X：011-232-4604

E-mail：suzuki@tour-de-hokkaido.or.jp

U R L：<http://www.tour-de-hokkaido.or.jp>